

学 期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1部1章 地図や地理情報システム と現代世界					【章の目標】 さまざまな地図の読図を 通して、地図と地理情報シ ステム（GIS）の役割や有 用性を考えていこう。	【章の評価規準】 ①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み 取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用 性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取 る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に つけている。 ②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地 理情報システムはどのように利用できるのかについて、多 面的・多角的に考察し、表現している。 ③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法に ついて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1節 地球儀と地図					【節の主題】 地球儀やさまざまな図法の地図から、現代世界の姿はどのよう に読み取ることができる のだろうか。	
1	4	1	p.6-7	1 地球上の位置 と地上の現象	地球上の位置は、どのよ うに表すことができるの だろうか？	①地球上における位置のとらえ方を理解している。 ②地球上における位置の違いは、どのような物事に、どの ような形となって現れているのかについて、多面的・多角 的に考察し、表現している。 ③地球上における位置の違いによって生じている物事につ いて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	4	2	p.8-9	2 経度の違いと 時差	世界各地の時差は、なぜ 生じるのだろうか？	①時差が生じる理由や、時差の求め方を理解している。 ②時差が人々の生活にどのような影響を与えているのかに ついて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③時差が生じることによる人々の生活への影響について、 主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	4	3	p.10- 11	3 球体と平面の 世界	球体の地球儀と平面の地 図では、どのような違い があるのだろうか？	①球体でとらえる世界と、平面でとらえる世界に違いが生 じることを理解している。 ②球体の地球儀と平面の地図を利用しながら、世界の姿を とらえる際にどのような違いが生じるのかについて、多面 的・多角的に考察し、表現している。 ③球体の地球儀と平面の地図それぞれの適切な利用のしか たについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2節 地図と地理情報システム					【節の主題】 地図と地理情報システム（GIS）には、それぞれどのような役割や有用性があるのだろ うか。	
1	4	4	p.12- 13	1 地図の種類	地図は、目的に応じてど のように使い分けられて いるのだろうか？	①さまざまな図法によって描かれた地図の特徴や、目的に 応じて地図が使い分けられていることを理解している。 ②表現方法や縮尺、主題に着目しながら、目的に応じてど の地図の利用が適しているのかについて、多面的・多角的 に考察し、表現している。 ③目的に応じた地図の利用のしかたについて、主体的に追 究し、課題を見いだしている。

学期		月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1	4	5		p.14-15	2 地理情報システムの利用	地理情報システム（GIS）は、どのように役立てられているのだろうか？	①地理情報システムの特徴や、利用されている場面を理解している。 ②地理情報システムの特徴に着目しながら、地理情報システムが生活のなかでどのように役立てられているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地理情報システムの現在の利用方法や、これからの活用方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1部2章 結びつき深める現代世界						【章の目標】 位置や分布、規模（スケール）に着目して、現代世界における世界の国々の結びつきを考えていこう。	【章の評価規準】 ①世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。 ②国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。
1節 現代世界の国家と領域						【節の主題】 国家の領域と国境はどのように定められ、日本の位置と領域にはどのような特徴があるのだろうか。	
1	4	6		p.24-25	1 国家の領域と国境	世界には、どのような国境があるのだろうか？	①さまざまな国境によって国家の領域が定められていることを理解している。 ②国境の引かれ方や、国境によって定められた領域に着目しながら、世界や日本がどのように国家の領域を定めているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③場所や国家によって異なる国境の定め方について、主体
1	4	7		p.26-27	2 地図からみる日本の位置と領域	日本の位置や領域には、どのような特徴があるのだろうか？	①日本の位置や領域の特徴を理解している。 ②排他的経済水域や領土をめぐる問題に着目しながら、日本の位置や領域にどのような特徴があるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界や日本の国家の領域をめぐるさまざまな問題について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2節 地図からみる国内や国家間の結びつき						【節の主題】 現代世界を表したさまざまな地図から、人やモノ、情報の結びつきをどのように読み取ることができるのだろうか。	

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高校生の地理総合」地総046-902

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1	5	8 - 12	p.28- 29	1 グローバル化 と多様な結びつき	世界の国々や地域は、ど のように結びついている のだろうか？	①国家間の結びつきの変化をとらえるのに地図が有用である ことを理解している。 ②経済圏に着目しながら、国家間の結びつきがどのように 変化しているのかについて、地図を用いて多面的・多角的 に考察し、表現している。 ③地図から読み取れる国家間の結びつきの変化について、 主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	5	8 - 12	p.30- 31	2 拡大する貿易	貿易を通じて、世界はど のように結びついている のだろうか？	①世界の貿易の特徴をとらえるのに地図が有用であること を理解している。 ②先進国と発展途上国の関係や、各国間の協定に着目しな がら、世界の貿易にはどのような特徴があるのかについ て、地図を用いて多面的・多角的に考察し、表現してい る。 ③地図から読み取れる世界の貿易の特徴について、主体的 に追究し、課題を見いだしている。
1	5	8 - 12	p.32- 33	3 交通・通信の 発達	交通・通信の発達によっ て、人々の生活はどのよ うに変化したのだろうか？	①交通網・通信網の発達による世界の結びつきの変化をと らえるのに地図が有用であることを理解している。 ②地域差に着目しながら、交通網・通信網の発達による世 界の結びつきがどのように変化しているのかについて、地 図を用いて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図から読み取れる交通網・通信網の発達による世界の 結びつきの変化について、主体的に追究し、課題を見いだ している。
1	5	8 - 12	p.34- 35	4 観光と人の移 動のグローバル化	国を超えた人々の移動に は、どのような特徴があ るのだろうか？	①人々の移動の特徴をとらえるのに地図が有用であること を理解している。 ②移動の目的に着目しながら、人々が何を求めて、どのよ うに移動しているのかについて、地図を用いて多面的・多 角的に考察し、表現している。 ③地図から読み取れる人々の移動の特徴について、主体的 に追究し、課題を見いだしている。
2部1章 生活文化の多様性と国際 理解				【章の目標】 地理的環境に着目して、世 界の人々の生活文化の多 様性や変化の要因を考え ていこう。		【章の評価規準】 ①世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景 に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを 理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるもの や、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的 見方・考え方を身につけている。 ②地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域 との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性が どのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的 に考察し、表現している。 ③世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくこと について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
序説 生活文化の多様性				【序説の主題】 自然環境や社会環境に着目して、世界各地の特色ある生活文化をテーマごとに学習して いこう。		

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1	5	13	p.38-39	1 生活文化を考察する視点		①世界の多様な生活文化が、地理的環境から影響を受けながら形成されると同時に、現在も変化を続けていることを理解している。 ②世界の生活文化の多様性や変化の要因をとらえるために、自然環境や社会環境といった視点から多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の生活文化が地理的環境と深く関わることで多様性をもったり、変化したりすることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1 節 世界の地形と人々の生活					【節の主題】 地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	
1	5	14	p.40-41	1 生活と地形の関わり	人々の生活は、変動帯と安定地域でどのような違いがみられるのだろうか？	①世界の大山脈や大平原が、なぜそこに、どのようにできてきたのかを理解している。 ②世界の大山脈や大平原の形成過程や、それらの地形が人々の生活にどのような影響を与えているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③大規模な地形が人々の生活に影響を与えている様子について、恩恵となる部分を踏まえながら主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	5	15	p.42-43	2 河川がつくる地形と人々の生活	河川がつくる地形の上では、人々のどのような生活がみられるのだろうか？	①河川がつくるさまざまな地形が、なぜそこに、どのようにできてきたのかを理解している。 ②河川がつくるさまざまな地形の形成過程や、それらの地形が人々の生活にどのような影響を与えているのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③河川がつくる地形が人々の生活に影響を与えている様子について、地形の特徴や土地利用を踏まえながら主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	5	16	p.44-45	3 海岸の地形と人々の生活	海岸付近の地形の上では、人々のどのような生活がみられるのだろうか？	①海岸にみられるさまざまな地形が、なぜそこに、どのようにできてきたのかを理解している。 ②海岸にみられるさまざまな地形の形成過程や、それらの地形が人々の生活にどのような影響を与えているのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③海岸の地形が人々の生活に影響を与えている様子について、地形の成り立ちや変化を踏まえながら主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	5	17	p.46-47	4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	氷河地形、カルスト地形、乾燥地形では、人々のどのような生活がみられるのだろうか？	①氷河地形、カルスト地形、乾燥地形が、なぜそこに、どのようにできてきたのかを理解している。 ②氷河地形、カルスト地形、乾燥地形の形成過程や、それらの地形がどのような点で人々をひきつけているのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③氷河地形、カルスト地形、乾燥地形の景観としての特徴を見いだしたうえで、それらの地形が観光資源として人々をひきつけている要因について主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2 節 世界の気候と人々の生活					【節の主題】 気候は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	
1	5	18	p.50-51	1 生活と気候の 関わり	世界各地の気候は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか？	①世界の気候の広がりや、気候と人々の生活が深く関わり合っていることを理解している。 ②衣食住に着目しながら、世界の気候がどのような広がり方をしているのかや、気候と人々の生活がどのように関わり合っているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③気候と深く関わり合いながら人々が生活を築いてきたことについて、衣食住を手がかりに主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	6	19	p.54-55	2 熱帯の気候と 人々の生活	熱帯の地域では、人々はどのような生活をしているのだろうか？	①熱帯の特徴や広がり、気候と深く関わり合いながら、熱帯のなかでも異なる生活が築かれてきたことを理解している。 ②乾季の有無に着目しながら、熱帯のなかでも気候の差異がみられることや、各地で人々がどのような生活を築いてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③熱帯という気候を背景に、人々が築いてきた生活上の工夫や合理性について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	6	20	p.56-57	3 乾燥帯の気候と 人々の生活	乾燥帯の地域では、人々はどのような生活をしているのだろうか？	①乾燥帯の特徴や広がり、降水に恵まれないなかでも人々が工夫をしながら生活してきたことを理解している。 ②年降水量と灌漑設備に着目しながら、乾燥帯において人々がどのような生活を築いてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③乾燥帯という気候を背景に、人々が築いてきた生活上の工夫や合理性について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	6	21	p.58-59	4 温帯の気候と 人々の生活	温帯の地域では、人々はどのような生活をしているのだろうか？	①温帯の特徴や広がり、気温や降水の面で恩恵を受けながら人々の生活が築かれてきたことを理解している。 ②大陸の西岸と東岸の違いに着目しながら、温帯のなかでも気候の差異がみられることや、各地で人々がどのような生活を築いてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③温帯という気候を背景に、人々が築いてきた生活上の工夫や合理性について、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1	6	22	p.60-61	5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	亜寒帯・寒帯の地域では、人々はどのような生活をしているのだろうか？	①亜寒帯・寒帯の特徴や広がり、厳しい寒さのなかでも人々の生活が築かれてきたことを理解している。 ②植生や、夏冬の気温や降水量に着目しながら、亜寒帯・寒帯のなかでも気候の差異がみられることや、人々が寒さに対応してどのような生活を築いてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③亜寒帯・寒帯という気候を背景に、人々が築いてきた生活の工夫や合理性について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3 節 世界の産業と人々の生活					【節の主題】 産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
1	6	23	p.62-63	1 生活を支える農業の発展	農業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか？	①農業の国際化や技術の発達、世界の人々の生活に影響を与えてきたことを理解している。 ②自らの食生活をイメージしながら、農業の国際化や技術の発達、世界の人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③農業の発展が、自らの食生活だけでなく世界の人々の生活も変えてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	7	24	p.64-65	2 生活を支える工業の発展	工業の発展は、人々の生活をどのように変化させてきたのだろうか？	①工業の発展が世界の人々の生活を変化させてきたことを理解している。 ②工業の発展の経緯や移り変わりに着目しながら、技術の進歩が世界の人々の生活をどのように変えてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③工業の発展と深く関わりながら、世界の人々の生活が変化してきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
4 節 世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活					【節の主題】 言語・宗教や歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	
1	7	25-26	p.66-67	1 言語・宗教の多様性と歴史的背景	言語・宗教や歴史的背景は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか？	①宗教や言語といった文化が、民族というまとまりの形成や、人々の生活に影響を与えてきたことを理解している。 ②世界の民族に着目しながら、各民族がどのような文化や生活様式をもっているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③宗教や言語といった文化が各民族を特徴づけ、人々の生活を形づくってきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
5 節 生活文化の多様性と地理的環境					【節の主題】 自然環境、産業、宗教・歴史の各テーマから事例を選び、日本の生活文化との共通点・相違点に着目しながら学習していこう。	

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1	7	27	p.71-73	1 世界からみた日本の生活文化	日本と世界各地の生活文化には、どのような共通点や相違点があるのだろうか？	①日本と世界各地の生活文化の共通点・相違点を生み出す要因に、地理的環境があることを理解している。 ②衣食住などに着目しながら、日本と世界各地の生活文化にどのような共通点・相違点があるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本と世界各地の生活文化の共通点・相違点を、地理的環境を踏まえながら主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例1 産業 経済発展と生活文化 —東アジア—				【事例の主題】 急速な経済発展は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。		
1	7	28-40※	p.76-77	1 経済発展による生活の変化 —中国—	中国において、経済発展は人々の生活にどのような変化をもたらしたのだろうか？	①多民族国家として中国をとらえたうえで、経済発展が人々の生活に影響を与えてきたことを理解している。 ②言語や宗教、歴史に着目しながら、中国の経済発展が人々の生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③多民族国家としての中国における経済発展が、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	7	28-40※	p.78-79	2 多様な食文化とその変化 —中国—	経済発展は、中国の食生活にどのような変化をもたらしたのだろうか？	①経済発展に伴って、中国の食生活が変化したことを理解している。 ②自然環境の差異や農業に着目しながら、経済発展が中国の食生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境の差異や農業の特徴を踏まえたうえで、経済発展に伴う中国の食生活が各地でさまざまな変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	7	28-40※	p.80-81	3 人々が集まる都市の生活と課題 —中国—	経済発展を支える中国の豊富な労働力は、どのように変化してきたのだろうか？	①経済発展をもたらした中国の豊富な人口が、人口政策を経て、人口構成の面で変化してきたことを理解している。 ②人口政策や人口構成に着目しながら、経済発展をもたらした中国の豊富な人口がどのように変化してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人口政策や人口構成の変化を踏まえたうえで、中国における経済発展と人口の関係性について主体的に追究し、課題を見いだしている。
1	7	28-40※	p.82-83	4 経済発展に伴う格差と暮らしの変化 —中国—	経済発展によって、中国の人々の生活にどのような格差が生じているのだろうか？	①経済発展に伴う中国の都市化によって、人々の生活が変化してきたことを理解している。 ②都市化が進んだ地域とそうでない地域があることに着目しながら、経済発展がそれぞれの地域で人々の生活をどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③都市化の進展度合いの地域的差異や、そのことによって生じる経済格差の問題と対策について、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
1	7	28 - 40 ※	p.84- 85	5 経済のグローバル化と生活の変化 ―韓国―	経済発展によって、韓国の人々の生活はどのように変化しているのだろうか？	①経済発展に伴って韓国の人々の生活や文化が変化してきたことを理解している。 ②産業の特徴に着目しながら、経済発展に伴って韓国の人々の生活や文化がどのように変化してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③特徴的な産業がけん引した経済発展が、韓国の人々の生活を変化させてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例2 自然環境 季節風（モンスーン）と生活文化 ―東南アジア―					【事例の主題】 季節風（モンスーン）は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.88- 89	1 季節風の影響を受ける地域の生活	季節風は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか？	①季節風が自然環境に与える影響や、他地域との結びつきを生み、人々の生活に影響を与えてきたことを理解している。 ②季節風が人々の生活のどのような側面に関わり、変化を及ぼす要因となってきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③季節風によって影響を受ける自然環境の様子や、他地域との結びつきが生まれることで人々の生活が変化してきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.90- 91	2 交易によって伝えられた宗教と民族の多様性	季節風は、宗教や民族の多様性にどのような影響を与えたのだろうか？	①宗教や民族の多様性が海上交易や植民地支配といった歴史を通じてもたらされ、現代の人々の生活にさまざまな形で現れていることを理解している。 ②どのような歴史的経緯から宗教や民族の多様性がもたらされたのかや、現代の人々の生活に対してどのような政策が取られているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③海上交易や植民地支配といった歴史を背景に、宗教や民族の多様性が育まれてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.92- 93	3 季節風が育んだ米食文化と生活の変化	米食文化はどのように育まれ、どのように変化しているのだろうか？	①季節風に特徴付けられる自然環境や、歴史的経緯を背景に稲作や焼畑農業、プランテーション農業といった産業が発展してきたことや、緑の革命や輸出指向型の工業化がもたらした経済発展と人々の生活の変容を理解している。 ②どのような自然環境や歴史的経緯から、稲作や焼畑農業、プランテーション農業といった産業が発展してきたかや、緑の革命や輸出指向型の工業化が人々の生活をどのように変容させてきたかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境や歴史的経緯から発展してきた産業の様子や、緑の革命や輸出指向型の工業化が人々の生活を変容させてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
事例3 宗教・歴史 ヒンドゥー教と生活文化 ―インド―					【事例の主題】 ヒンドゥー教は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.96- 97	1 宗教と共にある生活	ヒンドゥー教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか？	①宗教が人々の生活に影響を与えてきたことを理解している。 ②ヒンドゥー教が形づくられてきた歴史的背景や、カーストに着目しながら、宗教が人々の生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ヒンドゥー教に基づく生活様式や思想、社会制度を手がかりに、宗教が人々の生活に影響を与えてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.98- 99	2 食文化と食料生産の変化	食文化や農業は、ヒンドゥー教とどのような関わりがあるのだろうか？	①宗教が人々の食文化に影響を与えてきたことや、近年の農業技術の進展が食文化を変化させていることを理解している。 ②食べ物や飲み物に着目しながら、宗教や農業技術の進展が人々の食文化の形成にどのように関わってきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ヒンドゥー教に基づく食文化や、農業とその技術の進展を手がかりに、宗教や産業が人々の生活に影響を与えてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.100 -101	3 急速な経済発展と宗教への影響	経済発展は、宗教や人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか？	①経済発展に伴って、宗教と深く結びついて形成されてきた人々の生活に変化が生じていることを理解している。 ②産業の発展に着目しながら、宗教と深く結びついてきた人々の生活が変化していることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③新たな産業の成長と経済発展が、宗教と結びついて形成されてきた人々の生活に変化をもたらしていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例4 自然環境 乾燥した気候と生活文化 ―中央アジア・西アジア・北アフリカ―					【事例の主題】 降水量が少なく乾燥した気候は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.104 -105	1 乾燥した風土のなかで育まれた多様な文化	乾燥した風土のなかで、どのような生活や文化が育まれてきたのだろうか？	①乾燥した気候・風土のなかで、特徴ある人々の生活や文化が育まれてきたことを理解している。 ②古くから栄えた文明に着目しながら、乾燥地域ならではの生活や産業がどのように成立し、工夫しながら発展してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③乾燥した気候・風土が、そこでの生活や産業に影響を与えながら発展を促してきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.106 -107	2 乾燥地域で生まれた宗教と生活への影響	イスラームは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか？	①気候・風土と深く関係しながら広まった宗教が、人々の暮らしに根づき、影響を与えていることを理解している。 ②他宗教との共存に着目しながら、乾燥地域に発祥した複数の宗教がどのように関係し合ったり、人々の暮らしに影響を与えたりしているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③乾燥地域で生まれ、根づいた複数の宗教の相互関係や、人々が共存して暮らしていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.108 -109	3 豊かな石油資源と生活の変化	豊かな石油資源によって、人々の生活はどのように変化したのだろうか？	①豊かな資源によって人々の生活が変化してきたことを理解している。 ②石油資源が生み出す利益と格差の両面に着目しながら、油田開発の歴史や産油国の組織化が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③豊かな石油資源による人々の生活の変化として、豊かな生活をもたらした側面と、紛争や宗教・民族間対立をもたらした側面について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例5 宗教・歴史 植民地支配の歴史と生活文化 ―サハラ以南アフリカ―				【事例の主題】 植民地支配の歴史は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。		
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.112 -113	1 多様な文化と植民地支配の歴史	植民地支配の歴史は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか？	①近現代に受けた植民地支配が、人々の生活や文化に影響を与えたことを理解している。 ②旧宗主国による統治の違いに着目して、人々の生活や文化は植民地支配によってどのような影響を受けたのかや、どのような独自性を残しているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人々の生活や文化において、植民地支配によって影響を受けた側面と、独自性を保っている側面について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.114 -115	2 植民地支配の影響が残る生活	植民地支配の歴史は、農業や食文化にどのような影響を与えたのだろうか？	①植民地支配が現地の農業や食文化に影響を与えたことを理解している。 ②農業の背景となる気候や、農作物の変化に着目して、植民地支配が産業や食文化にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③植民地支配がもたらした農業や食文化の変化を踏まえて、経済的に発展した側面と、問題視されている側面について、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.116 -117	3 情報革命で大きく変化する生活	経済的自立へ向けて、人々の生活にどのような変化が生じているのだろうか？	①植民地支配からの独立と経済的自立に向けた取り組みが、人々の生活を変化させていることを理解している。 ②他国との結びつきに着目しながら、植民地からの独立後の社会にどのような変化があったかや、経済的自立に向けてどのような取り組みが進められているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③経済的自立に向けての取り組みと、それを受けての人々の生活の変化を踏まえて、経済や社会の望ましい発展の方向性について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例6 宗教・歴史 伝統の継承と生活文化 ―ヨーロッパ―					【事例の主題】 受け継がれてきた伝統は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.120 -121	1 古いまち並みとキリスト教文化	古いまち並みや文化は、どのように継承されてきたのだろうか？	①歴史や文化を保護しようとする意識や、人々の生活と宗教が深く結びついていることで、古くからの景観や文化が継承されてきたことを理解している。 ②歴史や宗教に着目しながら、古くからの景観や文化を継承しようとする価値観がどのように育まれてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③歴史や伝統、文化を重視する価値観が育まれてきた要因について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.122 -123	2 伝統的な食文化と地域による違い	伝統的な食文化は、地域ごとにどのような違いがあるのだろうか？	①自然環境を背景に発展してきた農業や、食品の製法や調理法を確立・保護する制度などによって、地域に根ざした食文化が継承されてきたことを理解している。 ②自然環境の違いや農業に着目しながら、伝統的かつ地域固有の食文化がどのように育まれてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域に根差した食文化が発達し、現代においても受け継がれてきた要因について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.124 -125	3 物を大切にする文化と環境への配慮	物を大切にする文化は、産業や環境保全とどのように関わっているのだろうか？	①伝統と機能性、デザインを重視する工業や、環境保全の意識が根づいてきたことで、物を大切にする文化が育まれてきたことを理解している。 ②物づくりや環境保全に対する人々の考え方に着目しながら、物を大切にする文化がどのように育まれてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③物を大切にする文化が育まれてきた要因として、工業や環境保全の意識の定着・成熟があったことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.126 -127	4 地域統合と生活の変化	地域の統合によって、人々の生活はどのように変化したのだろうか？	①伝統や価値観を共有する国々が一つにまとまることで、人々の生活が変化してきたことを理解している。 ②国境の自由化に着目しながら、人的・経済的交流が活発化することによって人々の生活がどのように変化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域統合の結果、異なる生活文化や新たな価値観が共存する社会を形成する重要性が高まったことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例7 自然環境 寒冷な気候と生活文化 —ロシア—					【事例の主題】 冬の寒さが特に厳しい寒冷な気候は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.130 -131	1 寒冷地での生活の工夫	寒冷な気候の下では、人々の生活にどのような工夫がみられるのだろうか？	①寒冷な気候の下で、人々が工夫しながら生活を築いてきたことを理解している。 ②衣服や住居に着目しながら、寒冷な気候に対するすべとして人々どのような生活上の工夫をしてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③気候と深く関わりながら形成されてきた生活様式や工夫について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.132 -133	2 豊かな資源を生かした人々の生活	社会の変化とともに、人々の生活はどのように変わってきているのだろうか？	①社会主義から資本主義への体制の変化を背景に、豊かな鉱産資源を生かした周辺国との結びつきの強まりや、人々の生活や社会が大きく変容したことを理解している。 ②豊かな鉱産資源とそれを生かした周辺国とのつながりに着目しながら、人々の生活が社会体制の変化とともにどのように変容してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③社会体制の変化や、資源を通じた周辺国との結びつきの強まりによって、人々の生活や社会がどのように変容したかについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例8 産業 世界に影響を与える産業と生活文化 —アメリカ合衆国—					【事例の主題】 世界に影響を与える巨大な産業は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.136 -137	1 産業を支える移民とその文化	アメリカ合衆国の文化や産業は、どのように発展してきたのだろうか？	①移民とそれを受け入れてきた社会の活力が、世界の人々に影響を与える文化や産業を生み出してきたことを理解している。 ②移民の歴史に着目しながら、世界の人々に影響を与える文化や産業がどのように生み出されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③異なるものの融合によって世界的に影響をもつ文化や産業が生み出されてきた側面と、差別や格差が共生を難しくしている側面について、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.138 -139	2 大規模な農業がもたらす食への影響	アメリカ合衆国の食文化は、どのような背景から生まれたのだろうか？	①大規模な農業が世界の食文化に影響を与えてきたことを理解している。 ②現代の食文化や農業の規模に着目しながら、大規模な農業が世界の食文化にどのような影響を与えているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③大量生産・大量消費の生活様式の確立が、世界の人々の食文化を変えてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.140 -141	3 世界に広まった最先端の技術を生かした生活様式	最先端の技術は、人々の生活にどのような変化をもたらしたのだろうか？	①工業の発展が人々の暮らしを変化させてきたことを理解している。 ②先端技術の開発に関わる人々に着目しながら、技術革新がどこで、どのように生じてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ある技術の開発が世界に波及し、人々の生活様式を変えていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
事例9 宗教・歴史 開発の歴史と生活文化 —ラテンアメリカ—					【事例の主題】 ヨーロッパ人の進出による開発の歴史は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.144 -145	1 多様な民族によって生まれた独自の生活文化	ヨーロッパ人の進出は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか？	①ヨーロッパの人々の進出が人々の生活や文化に影響を与えてきたことを理解している。 ②歴史的背景や宗教、自然環境に着目しながら、伝統的な社会とヨーロッパの人々がもたらした生活や文化がどのように融合していったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境を背景に形成されてきた伝統的な生活や文化と、他地域からもたらされた宗教や文化が融合して新たな生活様式ができることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.146 -147	2 伝統的な食文化と農業開発の歴史	自然環境や農業開発を背景に、どのような食文化が育まれてきたのだろうか？	①先住民やヨーロッパの人々による農業開発によって、固有の食文化が育まれてきたことを理解している。 ②自然環境や歴史的背景に着目しながら、先住民やヨーロッパの人々による農業開発がどのような食文化を育んだのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境を背景に形成されてきた伝統的な食文化と、他地域からもたらされた食文化が融合して新たな食文化が生まれたり、農業形態に影響を与えたりすることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.148 -149	3 鉱工業の発展 による生活の変化	鉱工業の発展は、人々の 生活にどのような影響を 与えたのだろうか？	①鉱山開発や鉱工業の発展が人々の生活に影響を与えたこ とを理解している。 ②ブラジルとメキシコの工業化の背景に着目しながら、鉱 山開発や鉱工業の発展が人々の生活にどのような影響を与 えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現してい る。 ③鉱山開発や、他地域との分業体制の確立による鉱工業の 発展が人々の生活に影響を与えてきたことについて、主体 的に追究し、課題を見いだしている。
事例10 宗教・歴史 移民の歴史と 生活文化 ―オセアニア―				【事例の主題】 世界各地からの移民の歴史は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだ ろうか。		
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.152 -153	1 ヨーロッパ文 化と先住民の文化	ヨーロッパからの移民 は、オセアニアの生活文 化にどのような変化をも たらしたのだろうか？	①世界各地からの移民が、文化や社会に影響を与えてきた ことを理解している。 ②植民地の歴史や移民の出身国の変化に着目しながら、多 文化社会がどのように形成されてきたのかについて、多面 的・多角的に考察し、表現している。 ③多文化主義の政策が社会に与えた影響について、主体的 に追究し、課題を見いだしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.154 -155	2 移民と先住民 が育んだ食文化	オセアニアに暮らす移民 や先住民は、どのような 食文化を育んできたのだ ろうか？	①ヨーロッパからの移民が食文化の形成に関わってきたこ とを理解している。 ②気候や農業に着目しながら、伝統的な生活や食文化と、 移民によってもたらされた生活と食文化がどのように形成 されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現 している。 ③人の移動によって食文化が変化したり、新たな食文化が 生じたりすることについて、主体的に追究し、課題を見い だしている。
2	9 - 10	28 - 40 ※	p.156 -157	3 オセアニアの 生活に深く関わる アジア	アジアとの交流は、オセ アニアの社会や産業にど のような影響を与えてい るのだろうか？	①アジアとの交流の深まりが、人々の生活や国の産業に影 響を与えていることを理解している。 ②文化的交流や経済的交流に着目しながら、アジアとの交 流が人々の生活や国の産業にどのような影響を与えてい るのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③新たな地域との交流が深まることで、人々の生活や国の 産業が変化してきたことについて、主体的に追究し、課題 を見いだしている。

学 期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2部2章 地球的課題と国際協力					【章の目標】 持続可能な社会を目指して、地球的課題を解決するために必要な取り組みを考えていこう。	【章の評価規準】 ①地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 ②地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
序説 複雑に絡み合う地球的課題					【序説の主題】 さまざまな地球的課題が、相互に関連し合っていることを、広い視野でとらえながら学習していこう。	
2	11	41	p.162 -163	1 地球的課題と解決に向けた目標		①どのような地球規模の課題があり、課題どうしがどのように関係しているのかを理解している。 ②SDGsと照らしながら、地球規模の課題や、課題どうしの関係性について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球規模の課題に対するSDGsの達成に向けて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1節 人口問題					【節の主題】 世界にはどのような人口問題があり、その解決のためにはどのような取り組みが必要だろうか。	
2	11	42	p.164 -165	1 発展途上国の人口問題	発展途上国には、どのような人口問題があるのだろうか？	①発展途上国で人口が増加してきたことやその要因、人口が急激に増加することで生じているインフラや医療・福祉制度、教育環境の整備の遅れなどの課題を理解している。 ②発展途上国ではどのように人口増加が進んできたのかや、急激に人口が増加したことでのどのような課題が生じているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国での人口増加の要因と、人口増加によって生じている課題について、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	11	43	p.166 -167	2 先進国の人口 問題	先進国には、どのような 人口問題があるの だろうか？	①先進国で少子・高齢化が進行してきたことやその対策として進められてきた福祉政策や、日本においても大都市圏と農村地域で人口問題の現れ方が異なることなどを理解している。 ②先進国では少子・高齢化に対してどのような対策がとられているかや、日本の大都市圏と農村地域とでどのような人口問題が生じているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③先進国の人口問題とその対策についてや、日本で見られる人口問題について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2 節 食料問題					【節の主題】 世界にはどのような食料問題があり、その解決のためにはどのような取り組みが必要だろうか。	
2	11	44	p.168 -169	1 飢餓と飽食	世界や日本には、どのような食料問題があるのだろうか？	①世界には飢餓と飽食が同時に存在し、食料問題には農業や貿易の構造も関係していることや、日本でも食料自給率の低さに起因する食料問題が存在することなどを理解している。 ②世界や日本の食料問題にはどのような要因があり、どのような点で問題があるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界や日本の食料問題の解決に必要な取り組みについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3 節 都市・居住問題					【節の主題】 世界にはどのような都市・居住問題があり、その解決のためにはどのような取り組みが必要だろうか。	
2	11	45	p.170 -171	1 発展途上国の 都市・居住問題	発展途上国の都市では、どのような都市・居住問題が生じているのだろうか？	①発展途上国の都市では、インフラ整備の遅れからくる交通渋滞や、都市への人口流入とスラムの形成などの問題があることを理解している。 ②発展途上国の都市でみられる交通渋滞やスラムの形成といった問題がなぜ生じるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国の都市にみられる交通渋滞やスラムの形成といった問題について、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	11	46	p.172 -173	2 先進国の都市・居住問題	先進国の都市では、どのような都市・居住問題が生じているのだろうか？	①先進国の都市では、ドーナツ化現象やインナーシティの形成に伴う問題があることや、ジェントリフィケーションなどの再開発が地域や都市の人々の生活に影響を与えていることを理解している。 ②先進国の都市でみられるドーナツ化現象やインナーシティの形成がどのように起こるのかや、ジェントリフィケーションによってどのような変化がもたらされるのについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③先進国の都市にみられるドーナツ化現象やインナーシティの形成、ジェントリフィケーションに伴う変化とその影響などについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
4 節 感染症・衛生問題					【節の主題】 世界にはどのような感染症・衛生問題があり、その解決のためにはどのような取り組みが必要だろうか。	
2	12	47	p.174 -175	1 広がる感染症と衛生問題	グローバル化が進むなかで、感染症に対してどのように対応すべきだろうか？	①世界の感染症がどこで、どのように現れ、どのように解決が図られてきたのかを理解している。 ②グローバル化や衛生環境に着目しながら、感染症がどこで、どのように生じ、どのように解決が図られてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界規模で生じる感染症の解決に必要な取り組みについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
5 節 資源・エネルギー問題					【節の主題】 世界にはどのような資源・エネルギー問題があり、その解決のためにはどのような取り組みが必要だろうか。	
2	12	48	p.176 -177	1 限りある資源・エネルギー	資源・エネルギーは、どこで生産され、消費されてきたのだろうか？	①資源・エネルギーの生産地と消費地は、それぞれ地域的に偏在していることを理解している。 ②資源・エネルギーの生産地と消費地が、なぜ、どのように偏在しているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③資源・エネルギーの生産地・消費地が、地域的に偏在していることへの対応について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	12	49	p.178 -179	2 資源・エネルギー問題への取り組み	資源・エネルギー問題に対して、どのような取り組みが必要だろうか？	①どのような資源・エネルギー問題が生じており、どのような対策が求められるのかを理解している。 ②利用の安全性や、安定供給といった側面に着目しながら、人々の生活と資源・エネルギーの間にどのような問題が生じているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人々の生活を支える資源・エネルギーが、安全で安定的なものとなるのに必要なことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
6 節 地球環境問題					【節の主題】 世界にはどのような地球環境問題があり、その解決のためにはどのような取り組みが必要だろうか。	

学 期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2	12	50 - 52	p.180 - 181	1 国境を越えて 広がる地球環境問題	地球環境問題は、世界各地でどのような形となって現れているのだろうか？	①地球環境問題がどこで、どのような影響を及ぼしているのかを理解している。 ②海洋汚染や熱帯林破壊に着目しながら、地球環境問題がどこで、どのように生じており、どのような影響が生じているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球環境問題が引き起こされる要因や、各地に及ぼす影響について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
2	1	50 - 52	p.182 - 183	2 地球温暖化と 国際的な取り組み	持続可能な開発を実現するためには、どのような課題があるのだろうか？	①持続可能な開発に向けて課題となっていることや、国際的な取り組みが必要なことを理解している。 ②国際的な取り組みに着目しながら、持続可能な開発はどのように実現できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③持続可能な開発を実現するために必要なことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3部1章 自然環境と防災				【章の目標】 自然環境の特徴に着目して、地域で起こりうる自然災害に対する防災・減災の取り組みを考えていこう。	【章の評価規準】 ①自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 ②どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	
1節 自然災害と暮らし				【節の主題】 世界ではどのような自然災害がみられ、それに対して人々はどのように対応してきたのだろうか。		
2	1	53	p.188 - 189	1 世界での自然災害とその対応	世界では、どのような自然災害が発生しているのだろうか？	①世界の土台となっている自然環境は、恩恵だけでなく災害による被害ももたらすことがあり、各地で災害への備えや、共生していくための取り組みが進められていることを理解している。 ②世界各地で自然環境に起因するどのような災害が生じているのかや、自然環境との共生に向けたどのような取り組みが進められているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界各地でみられる自然災害と、それとの共生に向けた取り組みについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2 節 日本の自然環境					【節の主題】 日本の自然環境は、世界と比較するとどのような特徴があるのだろうか。	
3	1	54	p.190 -191	1 日本の自然環境と人々の生活	日本の自然環境には、どのような特徴があるのだろうか？	①世界と比較した日本の自然環境の特徴を理解している。 ②地形や気候、自然災害との関係に着目しながら、日本の自然環境にはどのような特徴があるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の地形や気候、自然災害と比較した日本の自然環境の特徴について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3 節 地震・津波や火山活動による災害と防災					【節の主題】 地震・津波や火山活動による災害を防ぐためには、どのような取り組みが必要だろうか。	
3	1	55	p.192 -193	1 地震・津波のしくみと被害	地震によって、どのような被害が生じる可能性があるのだろうか？	①地震が発生するメカニズムや、生じる場所と揺れの大きさの関係を理解している。 ②地震が発生する場所や震源からの距離に着目しながら、地震がどのように生じ、場所によってどのような現れ方をするのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地震の生じるメカニズムや、発生場所と揺れの関係性について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3	1	56	p.194 -195	2 地震・津波災害と地域の取り組み	地震に備え、地域の人々はどのような対策をしているのだろうか？	①地震によってもたらされる被害を理解している。 ②東日本大震災や阪神・淡路大震災による被害に着目しながら、地震によってどのような被害が生じるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地震によって人々の生活がどのような被害を受けるのかについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3	2	57	p.196 -197	3 火山の恵みと噴火による被害	火山は、私たちの生活とどのように関わっているのだろうか？	①火山がもたらす被害がある一方、恩恵も受けていることを理解している。 ②火山がもたらす被害と恩恵の両側面に着目しながら、火山と深く関わりながら人々がどのような生活を築いてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③火山と人々の生活が深く関わっていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3	2	58	p.198 -199	4 火山災害と地域の取り組み	火山の噴火に備え、地域の人々はどのような対策をしているのだろうか？	①火山の周辺に暮らす人々が、過去の教訓を踏まえて行っている対策を理解している。 ②普賢岳や桜島の噴火による被害に着目しながら、火山の周辺で暮らす人々がどのような対策をしているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③火山の周辺で暮らすうえで必要な対策について、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
3	2	59	p.200	5 地震・津波や火山活動への対策	地震・津波や火山活動に対して、どのような対策がされているのだろうか？	①地震・津波や火山活動に対して、日本や世界の国々が行っている対策を理解している。 ②防災の取り組みや生活との関わりに着目しながら、日本や世界の国々が地震・津波や火山活動に対してどのような対策を行っているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人々の生活のなかにみられる地震・津波や火山活動への取り組みや対策について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
4 節 気象災害と防災					【節の主題】 気象災害を防ぐために、どのような取り組みが必要だろうか。	
3	2	60	p.202 -203	1 さまざまな気象災害	気象災害にはどのようなものがあるのだろうか？	①場所によってどのような気象災害が生じるのかを理解している。 ②場所による被害の違いに着目しながら、どのような気象災害がどのような場所で生じるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③気象災害が生じる場所とその要因について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3	2	61	p.204 -207	2 集中豪雨・都市型災害・雪害と地域の取り組み	集中豪雨や大雪に備えて、私たちはどのような対策をするべきだろうか？	①集中豪雨による災害リスクを自然環境の面から見いだしたり、都市部や豪雪地帯に必要な防災対策を理解している。 ②集中豪雨に対して、どのような地域でどのような対策が必要とされるのかや、都市部や豪雪地帯ではどのような災害対策かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③豪雨や豪雪による災害リスクとその対策について、主体的に追究し、課題を見いだしている。
5 節 自然災害への備え					【節の主題】 自然災害に対して、私たちはどのような備えが必要だろうか。	
3	2	62 -63	p.210 -211	1 減災への取り組みと被災地への支援	被害を最小限にするために、私たちはどのような準備をするべきだろうか？	①自然災害による被害を最小限にするために必要な備えを理解している。 ②事前の備えに着目しながら、自然災害による被害はどのように最小化することができるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然災害による被害を最小限にするために、事前にできる備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

学 期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
3部2章 生活圏の調査と地域の展望					【章の目標】 生活圏にみられる課題を調べ、その解決に向けた取り組みを考えていこう。	【章の評価規準】 ①生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 ②事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
1節 生活圏の調査と地域の展望					【節の主題】 生活圏にある課題に対して、私たちはどのような取り組みができるのだろうか。	
3	3	64 - 67	p.216 - 217	1 地理的な調査テーマの設定	私たちの生活圏には、どのような地理的課題があるのだろうか？	①生活圏の調査を行ううえで、「問い」を立てることや事前調査が必要なことを理解し、技能として身につけている。 ②自らの生活圏に対してどのような「問い」が立てられるのかや、どのような事前調査が必要なのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自らの生活圏に対して「問い」を立てたり、事前調査の方法を考えたりするなど、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3	3	64 - 67	p.221	2 事前調査と現地調査	仮説の検証に向けてどのような現地調査を行えばよいのだろうか？	①事前調査の結果から仮説を立てることや、調査項目を準備したうえで現地調査を行うことを理解し、技能として身につけている。 ②事前調査の結果からどのような仮説や調査項目が立てられるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③仮説や調査項目など、現地調査を行ううえで必要なことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。
3	3	64 - 67	p.222 - 223	3 調査結果の分析と仮説の検証	現地調査の結果、どのようなことがわかったのだろうか？	①現地調査の結果を分析・整理し、仮説の検証を行うことを理解し、技能として身につけている。 ②他地域の似た事例と比較するなど、仮説をどのように検証するのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現地調査の結果を分析・整理したり、他地域の事例と比較したりしながら仮説の検証を行うことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「高校生の地理総合」地総046-902

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

学期	月	時 限	教科書 ページ	項目 (タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
3	3	64 - 67	p.224 -225	4 調査結果のまとめと地域社会への参画	調査の成果を地域に還元するには、どのような方法があるのだろうか？	①調査結果の発表方法や、調査結果を地域に還元するために必要な取り組みを理解し、技能として身につけている。 ②調査結果の発表方法に着目しながら、現地調査の結果をどのようにまとめ、発表するのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③調査結果を地域に還元するという視点を持ちながら、調査結果のまとめ方や発表のしかたについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。

※ 教科書p.74～157は選択単元。自然環境をテーマとした事例2・4・7から1地域、産業をテーマとした事例1・8から1地域、宗教・歴史をテーマとした事例3・5・6・9・10から1地域、計3地域を選択して学習する。